

『埋文やまなし』 50 冊のあゆみ

山梨県埋蔵文化財センターの広報紙として出発した『埋文やまなし』も今号で50号。デジタル化が進む中で、『埋文やまなし』が進むべき道は・・・『埋文やまなし』のこれまでとこれからについて、みんなで考えました。



数字で読む山梨県埋蔵文化財センター

- 『埋文やまなし』でとりあげた遺跡数 のべ133遺跡
- 出前支援事業をおこなった学校数 のべ84校
- 収蔵資料を貸し出した施設数 のべ250施設
- 調査報告書刊行数 304集
- 遺跡調査発表会参加人数 4027人(統計の残る1995～)
- 甲府城展参加人数 28565人
- 山梨の遺跡展観覧人数 7049人
- 研究紀要への論文掲載数 188本
- HPへのアクセス数 75377件 (統計の残る2013年～)
- 発掘調査件数 5195件(1981～)

『埋文やまなし』50号に寄せて

バックナンバーいち押しは これっ！

私は今年度に当センターの一員に加わりました。その私が49号までのバックナンバーを見返すなかで、とっても感動したのは37号の「甲府城落書き消し大作戦！！」特集です。落書きが目立つ甲府城跡の文化財石垣について、集まったこどもたちの手で美しさをとりもどそうというチャレンジでした。表紙を飾った集合写真、みんなすばらしい笑顔でした。
(今年度新人のk)

そんなこともあったっけ・・・

1998(平成10)年の10月に創刊されて以来、しばらくはモノクロ刷でした。25号になって片面のみ4色刷となりましたが、この色がついたページにボクが写ったの写真が掲載されました。ちょっと誇らしく・・・そして27号、ついに全面カラーに。進化してきたなあ～。ぼくもその早さに置いてかれないようにがんばらなきゃ・・・。
(ずぶん旧人のO)

100号をめざして・・・

こどもの頃、毎月買っていた月刊誌がいつも楽しみだった。机の書棚に並べては、ことあるごとに読み返していた。ただのめずらしさだけではない。開いてみれば、読んで、つくって、いろいろ想像の広がる楽しい世界がある。雨が上がれば、みんなで遺跡にでかけてみよう。
(先々を夢見るX)